



本年度も史跡巡り実施
総会開催 懇親会楽しく

岡山観一同窓会の本年度総会・懇親会は7月2日、岡山駅

前のサンビーチ岡山で開かれ、45人(うち来賓9人)が参加。役員改選で理事に永田伸一

さんを選任、今年度も青春会(ミニ懇親会)、史跡巡りの実施など決めました。今回初めて企画した講演会では尾崎敏文副会長(岡山大病院副院長)の話に耳を傾け、懇親会に移るとカラオケも入って一気に打ち解け、あちこちで歓談の輪が広がっていました。

佐川弘治郎会長の挨拶で開会。来賓を代表して三宅昭二観一高同窓会長、高井信一校長、小野喬啓京阪神支部幹事が登壇、「来年10月に体育館ができる。同窓会として綴帳を贈ることにしているので資金集めにご協力を」今年始まった東大推薦入試に香川県でただ一人、わが校の卒業生が入った。リオ五輪に卒業生の荻田大樹君(平成18年卒)が棒高跳びで出場する。岡

山インターハイでの陸上部員の活躍と合わせ応援してほしい」となどと話しました。

他のご来賓の方は、観一高同窓会副会長の大久保健二様、片山葉子様、越田洋子様そして、真鍋茂明本部署務局長、田中英昭、徳善久人両事務局次長です。

尾崎副会長が講演



総会の目玉、講演会のテーマは「ロコモティブシンドロームについて知っていますか?」。

ロコモは骨、関節などが故障し移動能力が低下した状態で、尾崎先生「写真」がスライドを使って変形性膝関節症などの治療や、水泳、ウォーキングなどの運動方法を紹介すると、膝や腰に不安を持つ会員らは熱心に聞き入っていました。

記念撮影の後、懇親会に移り、松浦良行顧問の音頭で乾杯したあと、前川宗正さんの軽妙な司会で進行。テーブルを巡って杯を交わす人も多く、カラオケ歌手も次々に出てにぎやかな宴となりました。

途中、戦後数年間歌われた「学



講演に聞き入るご来賓の皆様

集える仲間「青春会」

昨年11月14日に15人の仲間が集いました。初参加の浅山泰代さん(昭和40年卒)が加わり、和やかなひとときを過ごしました。

写真は、本部・三宅昭二会長著「人間らしく生きる---私の生き立ちと歩み---」を朗読する光景

(佐川)



園の歌」や、三豊中校歌、観一校歌を声高らかに斉唱。開幕直前にJRの事故で数人が遅れるハプニングはありましたが、久保恭宏副会長の閉会挨拶で無事終了しました。今年も山陽新聞ちまた欄の「集い」に、この日の記念写真を送りました。10月下旬以降の同紙を注目してください。(滝本)

平成28年度事業計画

- ・総会・懇親会 平成28年7月2日(土)
- ・会報「岡山観一会だより」5号発行 7月下旬
- ・青春会(ミニ懇親会) 11月第3週土曜日予定
- ・役員会 平成29年3月上旬
- ・史跡巡り 行き先未定 3月下旬予定

<本部・他支部関係はH27年度に準じる予定>

「天空の城」に上った！

17 人 高梁で史跡巡り



岡山観一会の恒例行事「史跡巡り」が3月26日に行われ、天空の城として最近とみに有名になった高梁市の備中松山城を訪ねました。小学男児1人を含む17人が臥牛山のふもとの城見橋駐車場に集合。毎回参加してくれる観音寺や兵庫の同窓もいます。シャトルバスで8合目にあるふいご峠に向かい下車。ここから徒歩で「天守が現存する日本一高い山城」を目指します。天守まで700段というものの、急な坂道の連続で、足場も悪く、杖を頼りにヨイショ、ヨイショ。「いい天気でよかったなあ」「もう少しすれば桜がきれいだろうなあ」などと声を掛け合っていたのは最初のころだけ。中太鼓丸櫓跡、大手門跡：と高度が上がるにつれて無口になり、ガイドさんの説明もうわの空。跳び跳ねるように前を行く佐川会長のお孫さんの軽快な足取りがうらやましくなります。備中松山城は1240年に臥牛山に砦が築かれたのが始まりで、1683年に天守が大修築され、天守、二重櫓などが国重文に指定されています。ようやくたどり着いた天守で殿様気分になって眼下を見下ろし、広場で弁当を食べ、記念撮影。それにしても当時の侍や女官たちはどうやってこんな山道を行き来したのか、さぞ大変だっただろうといたく同情しましたが、普段は市街地の「御根小屋」で城

岡山観一会の恒例行事「史跡巡り」が3月26日に行われ、天空の城として最近とみに有名になった高梁市の備中松山城を訪ねました。小学男児1人を含む17人が臥牛山のふもとの城見橋駐車場に集合。毎回参加してくれる観音寺や兵庫の同窓もいます。シャトルバスで8合目にあるふいご峠に向かい下車。ここから徒歩で「天守が現存する日本一高い山城」を目指します。天守まで700段というものの、急な坂道の連続で、足場も悪く、杖を頼りにヨイショ、ヨイショ。「いい天気でよかったなあ」「もう少しすれば桜がきれいだろうなあ」などと声を掛け合っていたのは最初のころだけ。中太鼓丸櫓跡、大手門跡：と高度が上がるにつれて無口になり、ガイドさんの説明も

無口になり、ガイドさんの説明もうわの空。跳び跳ねるように前を行く佐川会長のお孫さんの軽快な足取りがうらやましくなります。備中松山城は1240年に臥牛山に砦が築かれたのが始まりで、1683年に天守が大修築され、天守、二重櫓などが国重文に指定されています。ようやくたどり着いた天守で殿様気分になって眼下を見下ろし、広場で弁当を食べ、記念撮影。それにしても当時の侍や女官たちはどうやってこんな山道を行き来したのか、さぞ大変だっただろうといたく同情しましたが、普段は市街地の「御根小屋」で城



黙々と上る参加者たち (中央はガイドさん)

主が政務をとっていたそうで、家来も戦乱の時以外はあの坂を上ることはなかったと聞いてなぜかホツとしました。

このあと頼久寺で小堀遠州が手掛けた庭園を観賞、武家屋敷付近も散策するなど、備中の小京都、高梁の歴史と文化を堪能した春の一日となりました。

(滝本)



岡山観一会総会に出席して

観一高同窓会京阪神支部代表

小野 喬啓

(昭和35年卒11回)

岡山観一会総会はとても楽しかった。佐川会長はじめ、お世話になりました岡山支部の皆様には感謝とお礼を申し上げます。

この度、当支部の同窓会誌に寄稿頂きました松浦良行様(三中40回卒)にも直接お会い出来、色々とお話を伺うことが出来ました。また、尾崎敏文先生のご講演「ロコモティブシンドロームって知っていますか？」は、後期高齢者に該当する私達の世代にとっては、とても有益なお話でした。

観一高卒業以来、56年振りにお会いした同期の河合(田岡)京子さん、同期の神原廣二君のお兄さん・神原啓様などとお話が出来ました。その他、色々な出会いがあり支部同窓会の醍醐味・神髄を経験させて頂きました。改めてお礼を申し上げます。

平成27年度事業報告

- ・総会・懇親会 平成27年6月21日
・会報「岡山観一会だより」4号発行 7月31日
・青春会(ミニ懇親会) 11月14日(土) 於:すし茶屋「銀八」
・役員会 平成28年3月5日(土) 14:00~
・史跡巡り「備中松山城 他」 3月26日(土)

平成28年度役員

<顧問>

- 松浦 良行 (S. 19 卒)
玉井 徹 (S. 29 卒)
床田 弘幸 (S. 29 卒)
河合 京子 (S. 35 卒)

<会長>

- 佐川弘治郎 (S. 40 卒)

<副会長>

- 石井 成毅 (S. 31 卒)
久保 恭宏 (S. 33 卒)
片山 泰弘 (S. 36 卒)
若林みどり (S. 39 卒)
尾崎 敏文 (S. 55 卒)

<理事>

- 高坂つた子 (S. 30 卒)
小西 康夫 (S. 41 卒)
富田 信秀 (S. 43 卒)
高畑 富子 (S. 43 卒)
宇賀 博 (S. 44 卒)
高橋 誠 (S. 45 卒)
永田 伸一 (S. 45 卒)
秋山 博正 (S. 51 卒)
尾崎 美樹 (S. 55 卒)
西宇 建雄 (S. 59 卒)
吉田 卓央 (H. 元 卒)

<事務局>

- 滝本 清文 (S. 40 卒)
小出 博 (S. 43 卒)